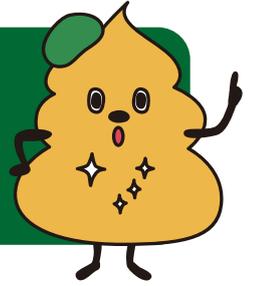


文部科学省
エントランス
企画展示

トイレからひろがる 幸せな暮らしのデザイン



総合地球環境学研究所（地球研）は、地球環境問題の根本は文化の問題、人の暮らし方にあると考え、人も自然も大切に解決方法について、学際的・実践的アプローチから探る研究を進めています。

今回の企画展示では、地球研が大学共同利用機関として北海道大学と連携して行っている「サンテーション価値連鎖の提案—地域のヒトによりそうサンテーションのデザイン」プロジェクトのブルキナファソでの取り組みに焦点をあて、地球研の研究の一例として紹介します。

排泄は、人が生きていく上で避けては通れないものの一つであり、ヒトが排出するし尿や排水を扱うサンテーションは、公衆衛生・環境・生態系管理に加え、資源問題を左右する重要な要素です。「将来の約100億人分が排出する物質をどのように扱うか」、「いかに持続可能な開発目標（SDGs）の中の水と衛生のターゲットを達成するか」は、解決すべき地球環境問題です。

プロジェクトでは、サンテーションを単なる廃棄物処理の技術としてではなく、『価値』を創造するものとして地域に住む人びとの暮らし・コミュニティの価値連鎖の中に組み込むしくみを、地域の人々と共にデザインすることを目指しています。サンテーションのしくみが整っていない開発途上国や、高齢化・人口減少でインフラの維持が課題となっている日本の過疎地域などを対象に、個人の価値観、地域のし尿に対する規範・文化・伝統・気候・経済とサンテーションの関係を知り、先進国と開発途上国の共通の目標として、「サンテーション価値連鎖」を提案する取り組みをすすめています。

展示物

- ・研究紹介パネル
- ・ブルキナファソ農村で使われているトイレの模型
- ・サンテーションバリューチェーンを紹介するミニチュア
- ・ブルキナファソの暮らしを紹介するビデオ



展示期間

2018年 5月 21日（月）～6月 26日（火）（予定）

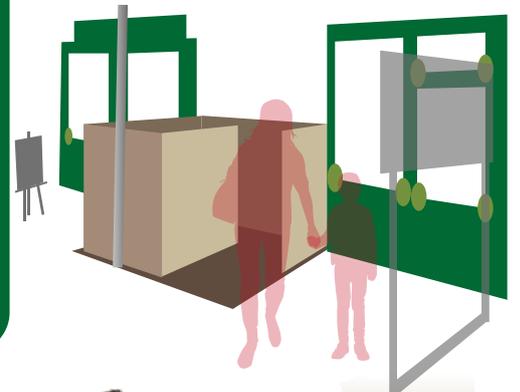
10:00～18:00 ※土曜日、日曜日、祝日、休館

入館無料

場所

文部科学省新庁舎2階エントランス

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2



イベント

公開セミナー **ブルキナファソとブルキナベ：
ブルキナベからみたトイレのこと**



ブルキナファソとはどういう国なのでしょう。か。「ブルキナベ」（ブルキナファソの人）はどのような歴史を歩んできたのでしょうか。

ブルキナファソという国と歴史的背景を解説し、地球研「サンテーション価値連鎖の提案—地域のヒトによりそうサンテーションのデザイン—」プロジェクトによるブルキナファソにおけるとくみの内容を紹介します。

そのうえで、サハラ以南アフリカにおけるトイレの持続的な利用のあり方を「ブルキナベ」の目線に添いながら解説し、文系研究者の立場から、プロジェクトや地球研が取り組んでいる文理融合の研究や社会活動の可能性についてお話しします。

講師 **中尾 世治**（地球研 研究員）

日時 **5月 21日（月） 12:00～13:00**

場所 **文部科学省情報ひろばラウンジ（1F）**

お問い合わせ先



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所
Research Institute for Humanity and Nature

広報室

TEL: 075-707-2401
E-mail: kikaku@chikyu.ac.jp